

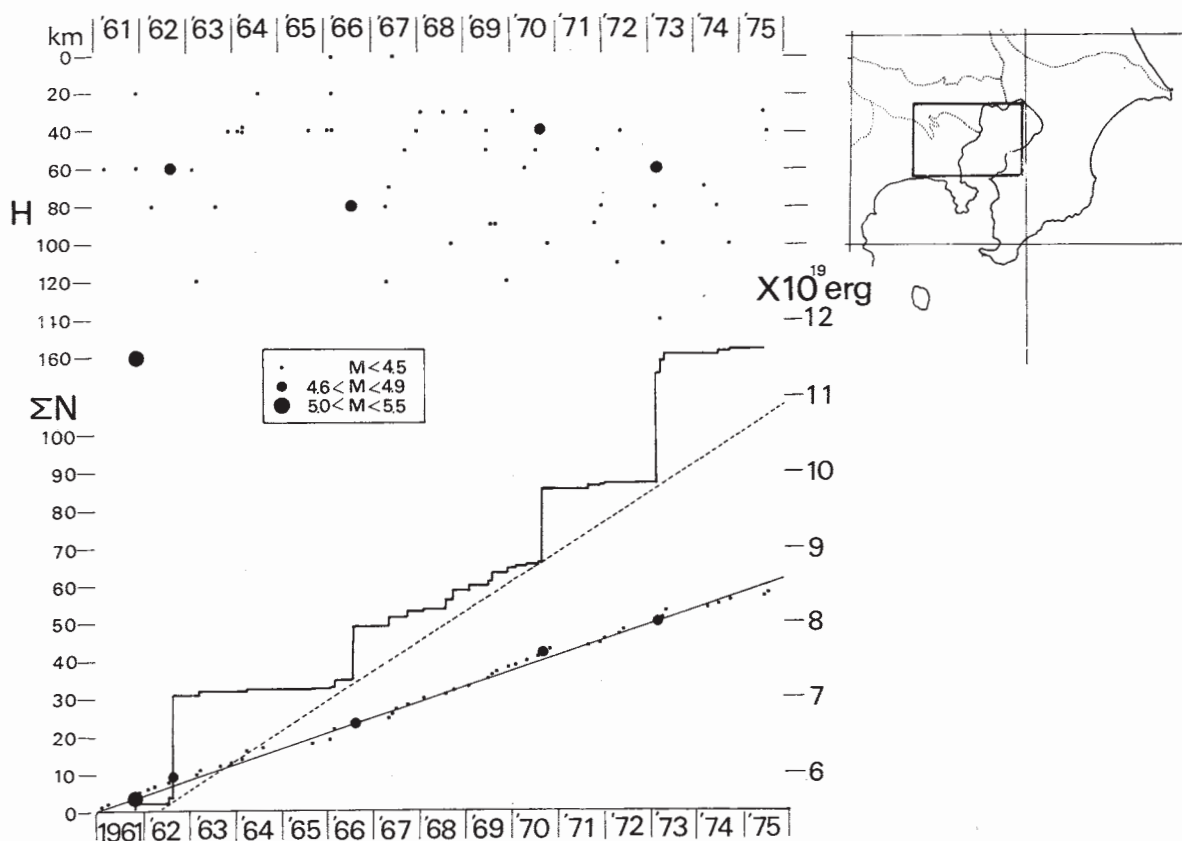
### 3 - 2 多摩川下流域の地震活動について (3)

#### Seismic Activity in the Lower Reaches of the Tama River (3)

気象庁 地震活動検測センター  
SAMC, Japan Meteorological Agency

第1図は前報と同様、多摩川下流域（東経139度20分 - 139度59分，北緯35度20分 - 35度40分で囲まれた地域）に1961年以後気象庁観測網で震源決定した地震の発生の変動を表わしたものである。そして上図は深さ別の変動，下図はその放出エネルギーと発生数の変化を積算値で表わしたものである。なお，1961年以後を採用したのは，この期間は観測網，地震計，震源決定法等がほとんど一様であり，資料の均一性を重視したためである。

これによると，この期間の地震の発生数，放出エネルギーは共に定常的であり，多摩川下流域に異常地盤隆起が始まったと考えられている1970年以後，特に変化があるという結果は現われていない。



第1図 多摩川下流域の地震活動

Fig. 1 Variation of seismic activity in the lower reaches of the Tama River.